

平成 30 年度使用教科用図書選定にかかる

専門調査会調査結果

【特別の教科 道徳】

部外秘 平成 30 年度使用教科用図書選定にかかる 専門調査会調査結果

道 徳		東 書	記入責任者
総 評		学校生活等の実生活に即した教材が多く配置され、児童が主体的に考え、学ぶことを通して、道徳的態度等を育成できるよう工夫されている。また、いじめ防止については、複数の時間にわたって、直接的、間接的教材を通して、いじめをしない、許さない心を育むことができる。さらに、振り返りページを活用して、児童の気づきや考えの変化を見取り、学期末の評価として生かせるよう工夫されている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 自由と責任において、例を挙げ、わかりやすく解説した後、問題場面を通して話し合い活動を行うことができるよう工夫されている。② ○ 登場人物が関西弁を使う教材がいくつかあり、児童が教材や大阪に親しみを持つことができる。⑧ ○ 人物の生き方を通して、児童の克己心や強い意志を育み、目標を持って取り組みを進めていこうとする態度を養えるよう配慮されている。⑩	
	2 教育基本法	○ 我が国の文化を尊重、はぐくんできた人物が、国際平和に寄与してきたことを通して、国際社会の発展にかかわろうとする態度を養うことについて配慮されている。⑤	
	3 学習指導要領	○ いじめ問題を各学年で重点的に取り上げ、直接的教材と間接的教材を組み合わせながら学習することで児童が深く考えられるよう配慮されている。② ○ 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について深く考えられるように、タイトルと、わかりやすく表現された学習テーマが示されている。③ ○ 内容項目「生命の尊さ」について、全学年にわたって、教材が複数配置され、指導時期も考慮されている。このことにより、効果的に命を尊ぶ態度が養われ、よりよい生き方について考えが深まるよう、配慮されている。⑦ ○ 学習を振り返る機会を年3回設け、心に残った教材を振り返り、自分の成長を見取るよう、工夫されている。振り返りの内容は、評価にも活用できるように配慮されている。⑧ ○ 学習活動ページ「出会う・ふれ合う」について、教材やシートに書き込む活動を取り入れ、他者とよりよく生きる力を育むよう工夫されている。⑨ ○ 問題解決的な学習について、関連教材を含め、発達段階を考慮し、主体的に道徳的実践を行えるよう配慮されている。⑩ ○ 情報モラルに関する指導について、具体的な事例をあげながら、他の項目内容とも関連付けて指導できるよう配慮されている。⑪ ○ 葛藤、心の揺れを扱った教材を配置することにより、自分と重ねながら深く考えることができるよう工夫されている。⑫	
	4 外的要素	○ 文字の大きさ、挿絵・写真も大きさや色づかいに配慮されている。①②③	
	5 構成・配列	○ 各教科における、道徳教育との関連が巻末の付録に示されている。また、学校行事等との関係が考慮された教材が配列されている。②	
	6 資料その他	○ 挿絵の絵柄が親しみやすく、写真・図表なども児童が興味を持つように工夫されている。②	
	特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例等 ○ 他教科との関連性、特に低学年のインクルーシブ教育の観点が薄い。⑪ 2 教育基本法 ○ 男女の平等については課題がある。③ 3 学習指導要領 ○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や自ら問題意識をもって多面的・多角的に考える学習展開をするには工夫を要する。③⑩ 4 外的要素 ○ 写真や挿絵の印象にばらつきがある。② 5 構成・配列 ○ 吹き出しが多く、子どもの考えるところも書いているので、子どもの考えが狭められてしまうのではないかと。① 6 資料その他 ○ ワークシートや考えの手立てとなるようなものが少ない。② ○ 言葉が難しい。説明しないとイケない言葉がある。	

部外秘 平成 30 年度使用教科用図書選定にかかる 専門調査会調査結果

道 徳		学 図	記入責任者
総 評		教材を「読み物」と発問を掲載した「活動」に分けることによって、児童が教材から主体的に課題を発見できるように工夫されている。また、事前に児童が「読み物」だけを読んでおき、授業では十分な時間を使って話し合いなどの学習指導をすることも可能である。さらに、日常の場面やいじめ防止にかかわっては、多様な視点から総合的にいじめに向き合い、ともに生きていこうとする心情を育むよう配慮されている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局行政基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 和太鼓づくりや法隆寺等に題材を求め、我が国の文化・伝統を尊重し、はぐくんでいこうとするよう配慮されている。⑧ ○ 保護者向けのページがあり、家庭との連携を図ることも考慮している。⑨ ○ パラリンピックや「くらしの中のユニバーサルデザイン」等多くの資料が配置され、インクルーシブ教育システムの充実・推進につながる。⑪	
	2 教育基本法	○ 「生命の尊さ」について、児童が感動を覚える複数教材を設け、関連したコラムも合わせて学習することにより、生命を大切にする態度を養えるよう工夫されている。④	
	3 学習指導要領	○ いじめの防止については、「公正、公平、社会正義」等の内容項目で、いじめにつながる状況について考えさせる教材が多数取り扱われ、児童の具体的な生活場面で、自分との関係において考えられるよう配慮されている。② ○ 分冊「活動」については、道徳的価値に迫る問いかけが提示され、一人一人が考えたことや発見したことについて意見交換することを通して、多面的、多角的に考え、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。また、コラムが充実している。③ ○ 分冊「読み物」については、発問等がなく、教材文のみなので、児童が主体的に課題を見つける等、指導者の裁量度が広がるよう配慮されている。⑧ ○ 言語活動を充実させるため、「活動」に上手な話し方、聞き方、話し合いの仕方について示され、児童が対話的な学習を行えるよう工夫されている。⑨ ○ 活動において問題解決的な学習、道徳的行動に関する体験的な学習等を行い、道徳的実践を主体的に行う意欲と態度が育めるよう配慮されている。⑩ ○ 学校行事等との関連に配慮して学習指導要領の内容項目にある 4 つの視点がバランスよく配列されている。④⑤⑥⑦ ○ SNS の危険性等、情報モラルに関する指導内容が、自由と責任等の視点で考えられるよう工夫されている。⑪ ○ 教材に葛藤場面が多く、人間の弱さを共感しつつ、児童が生き方について深く考えることができるよう配慮されている。⑫	
	4 外的要素	○ 全体的に挿絵が大きく見やすい。②	
	5 構成・配列	○ 活動ノートが内容項目ごとに一見開きになっていて、児童の心の変容や学びの深まりが実感できるようになっている。③	
	6 資料その他	○ 読み物・活動ノートが分かれており、個人差はあるが、指導の流れがつかみやすく進めやすい。①	
	7 資料その他	○ 読み物・活動ノートが分かれており、個人差はあるが、指導の流れがつかみやすく進めやすい。①	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局行政基本条例等	○ 大阪にふさわしい新しい文化の創造という点については、取り上げ方が少ないと感じる。⑧	
	2 教育基本法	○ 男女の平等については取り上げ方がやや弱く感じる。③	
	3 学習指導要領	○ 児童が考えを深め、判断し、表現する力が育めるような構成には工夫を要する。⑧⑨⑩	
	4 外的要素	○ 例えば、4 年「読み物」(P.30) で挿絵と文章が重なるなど、ユニバーサルデザインの視点で課題を感じる。③	
	5 構成・配列	○ 分冊されているため、学習時間内に消化しきれない懸念がある。②	
	6 資料その他	○ 「活動」にわりと広い書き込み欄があるページについては、考えをまとめたり深めたりする際に配慮を要する場合がある。①	

道 徳		教 出	記入責任者
総 評		各教材の末尾にある「学びの手引き」を使って、主体的・対話的で深い学びを促すよう工夫され、自分と異なる考えに触れ、新たな気づきや発見につながるよう配慮されている。また、いじめ問題については、各学年の発達段階に即した教材を配し、いじめ防止につながるよう配慮されている。さらに、「礼儀とマナー」、「スキルトレーニング」など、実践につながるような工夫が見られる。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 世界のあいさつや給食や世界的に活躍する人物を取り上げ、世界の文化に触れ、国際社会に対する興味関心が持てるよう配慮されている。⑦ ○ 日本の伝統的なものや日本人が広めたすごいものなどを取り上げ、我が国の良さを感じ、郷土を愛することができるよう配慮されている。⑧ ○ いじめ防止の観点で、安心して成長できる安全な社会に向けた資料が構成されている。⑨ ○ 人物を扱う教材を通して、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上、何事にもくじけず、努力を惜しまない態度を育成できるよう工夫されている。⑩	
	2 教育基本法	○ 日本の伝統的な行事や文化、オリンピックやパラリンピックなども取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。⑤	
	3 学習指導要領	○ いじめに関する教材では、児童が教材文や資料を読み、日常起こりうるトラブルを想起して、自分との関係において課題解決意識がもてるように工夫されている。② ○ 導入部分では、どの価値について学習するか提示した上で、学びの手引きが示され、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ また、振り返りページを設け、自らを振り返って成長を実感したり、これからの目標や課題を見つけたりできるよう工夫されている。⑧ ○ 問題解決的な学習やロールプレイングなど体験的な学習を通して考えを深めることができるよう配慮されている。⑩ ○ 低学年では、身近な電話番号を、高学年では、インターネットやメッセージのやり取りを取り上げて、それに対する法律などの解説もあるなど、発達段階に応じて情報モラルを考えられるよう配慮されている。⑪ ○ 認知症など現代的な課題を題材とした教材では、自分との関係において、解決に寄与しようとする意欲、態度が育つよう工夫されている。⑫	
	4 外的要素	○ 文字の大きさ、挿絵・写真も大きさや色使いに配慮されている。② ○ 一つの内容項目を複数の時間扱えるよう補充教材が用意されている。②	
	5 構成・配列	○ 同じ内容項目の資料を連続して配列をしているところもあり、重点主題教材や内容項目間の関連が明確にされている。①	
	6 資料その他	○ 児童に身近な動物や人物が取り扱われている。②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 国際理解に関することは、やや内容が薄い。⑦ ○ インクルーシブの視点での配慮がやや弱いと感じる。⑪	
	2 教育基本法	○ 他国を尊重する視点がやや弱い。⑤	
	3 学習指導要領	○ いじめを題材にした資料は、被害と加害どちらの視点で考えるか分かり難く、内容が具体的過ぎて学級の実態に応じた配慮が必要である。② ○ 「学びの手引き」が具体的すぎて、問題解決的な学習や、多面的・多角的に考える学習指導を展開するためには、配慮を要する。⑩	
	4 外的要素	○ 「学びの手引き」の文字の大きさが本文と同じで、罫線もない。①	
	5 構成・配列	○ 単元の始まりが左ページの場合がある。①	
	6 資料その他	○ 道徳ノートがなく、児童の考えを深める点で課題がある。①	

道 徳		光 村	記入責任者	
総 評		導入、教材、手引きの構成で、1時間の授業展開を見ることができ、手引きの中に、道徳的価値を深め、自分の生き方を考えさせる発問があるので、学習指導を進めやすい。また、「つなげよう」では、他の教科や日々の生活へと広がるよう工夫されている。さらに、教材とコラムを組み合わせ、「いじめをしない、させない、見過ごさない」が系統的に指導できるよう配慮されている。		
特に優れている点	1 大阪市教育行政基本条例・大阪市教育振興基本計画	○ 世界の文化や伝統を取り上げ、異文化の理解し、国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮している。⑦ ○ いじめ問題を考える教材を多く取り上げ、コラムを組み合わせ、互いを認め合う心やいじめを許さない心を育てるよう工夫されている。⑨ ○ 点字ブロックや盲目の方の資料を取りあげ、インクルーシブ教育システムの充実と推進に配慮されている。⑪		
	2 教育基本法	○ 「生命の尊さ」について、複数教材を配置し、「命」の大切さや生きることのすばらしさについて考えが深まるよう工夫されている。④ ○ 我が国の伝統や国際親善などを取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについて配慮されている。⑤		
	3 学習指導要領	○ いじめについては、いじめ問題と結びつく題材とコラムをまとまりのある教材として設定しており、「いじめをしない、させない、見過ごさない」が系統的に指導できるよう配慮されている。② ○ 教材の末尾にある「考えよう」では、学習のめあてを明らかにし、道徳的な問題を問うことで、道徳的価値を深めることができるように工夫されている。③ ○ 食べ物の紹介をすることで、異文化を理解し、世界の人たちと協力し合うことの価値が実感できるよう工夫されている。⑥ ○ 「つなげよう」では、学習後に、各教科や、次の行動につながるよう工夫されている。また、学習のまとまりごとに「学びの記録」が設けられ、自分の学びの変化や成長を振り返られるよう工夫されている。⑧		
	4 外的要素	○ 判型が、B5 版で低学年でも持ちやすい。また、必要最低限の文・挿絵・写真でまとめ、シンプルで見やすい。① ○ 文字の大きさ、挿絵・写真も大きさや色使いに配慮されている。② ○ 漫画教材も取り入れ、視覚的にわかりやすい工夫をしている。③		
	5 構成・配列	○ 児童の一年の成長を考慮して、学習のまとまりを4つに分けているので、1年間を見通せる構成になっている。① ○ いじめ防止や情報教育など現代の課題に対し、コラムと資料をひとまとまりにしてユニットを組んで学習できるよう工夫している。③		
	6 資料その他	○ 身近な動物や生活場面、漫画やタレント・声優のメッセージが取り扱われ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すよう工夫されている。②		
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育行政基本条例 等	○ 大阪にふさわしい新しい文化の創造に関しては課題がある。⑧		
	2 教育基本法	○ 自然愛護に関する教材がやや少ない。④		
	3 学習指導要領	○ 問題解決的な学習や自ら問題意識をもって多面的・多角的に考える学習展開をするには工夫を要する。③⑩ ○ いじめを題材にした教材に長いものがあり、活用に配慮を要する。②		
	4 外的要素	○ A4 サイズより小さいため、文字が小さく、書き込みスペースも狭い。① ○ 目次で学習指導要領の4つの内容が色分けされていない。②		
	5 構成・配列	○ 長文が多く低学年への配慮を要する。①		
	6 資料その他	○ 平成 23 年の図表があり、現在との相違点を考える必要がある。②		

部外秘 平成 30 年度使用教科用図書選定にかかる 専門調査会調査結果

道 徳		日 文	記入責任者
総 評		文科省作成の教材や学校生活を題材とした教材等、多様な教材を配置し、児童が読み取りやすいよう配慮されている。また、「気づく」「考える」「見つめる」の指導過程や、発問例が示され、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。さらに、指導のねらいに即して、「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」を適切に取り入れており、効果的に多様な学びを実現することができる。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 国際社会で生き抜く力を育むことができるように、教材を配慮し、世界的視野をもつことができるよう工夫されている。⑦ ○ 「いじめ防止」では、各学年で重点的に指導できるように複数の教材で構成されている。⑨	
	2 教育基本法	○ 「道徳ノート」の活用が児童の道徳性の成長の記録となり、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮されている。① ○ 我が国と郷土の伝統を尊重し、それを引き続き発展させていこうとする態度が育成できるよう工夫されている。⑤	
	3 学習指導要領	○ いじめについては、いじめの事象そのものの教材だけでなく、「相互理解、寛容」や「友情、信頼」「生命の尊重」などを内容項目として教材と組み合わせ、複数の教材を集中的に扱う構成にすることで、いじめの防止に対する心情や態度を養う工夫がされている。② ○ 冒頭に導入のための発問例やあらすじ、主な登場人物が紹介されていて、児童が学習のめあてをもち、資料に対して見通しをもって主体的に学習に取り組みことができるよう配慮されている。⑧ ○ 「心のベンチ」のページには、教材に関連した内容や活動が示されていて、より深い学びができるよう工夫されている。⑨ ○ 別冊の道徳ノートを活用することで、自分の考えを基に話し合ったり、書いたりするなどの言語活動の充実ができるよう工夫されている。⑨ ○ 体験的な学習や問題解決的な学習に適した教材には、学習の手引きを設け、ペアトークやグループトークの学習形態が示されていて、主体的・対話的な学びが実現できるよう工夫されている。⑩	
	4 外的要素	○ 文字、挿絵、写真など大きさや色使いが配慮され読みやすい。①② ○ 色調や色の組み合わせのバランスがよく、カラーユニバーサルデザインや読み取りやすさに配慮している。③	
	5 構成・配列	○ 発達段階に配慮して、生活目標や学校行事、他教科の学習内容を考慮して組織・配列されている。② ○ 重点主題教材や内容項目間の関連が明確にされている。③	
	6 資料その他	○ 写真が多く、実生活に即しており、自分のこととして考えやすい。① ○ 児童に身近なアニメや人物が取り扱われている。②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 大阪に触れる内容はあまり取り上げられていない。⑧ ○ インクルーシブ教育に関する教材は少ない。⑪	
	2 教育基本法	○ 我が国を愛する態度を養うことについての教材が少ない。⑤	
	3 学習指導要領	○ 別冊の「道徳ノート」は書き込むところが多いため、書く活動に時間がかかってしまい、話し合っって考えを深める活動を確保するための配慮が必要である。⑨	
	4 外的要素	○ イラストと文字が少し重なり、文字が見えにくいところがある。③	
	5 構成・配列	○ 低学年の道徳ノートは低学年にはマス目があり、児童は書きやすいが、文字数の制約など配慮を要する。①	
	6 資料その他	○ 別冊の「道徳ノート」は、毎回あるとやや使いにくい。①	

部外秘 平成 30 年度使用教科用図書選定にかかる 専門調査会調査結果

道 徳		光 文	記入責任者
総 評		一つの教材が「導入」「展開」「終末」「発展」とひとくくりになっていて、授業の流れがよくわかるよう工夫されている。また、各学校で内容項目の重点化をはかれるよう 35 時間分の教材を用意し、年間計画を柔軟に作ることができるよう配慮されている。さらに、巻末の「学びの足あと」では、児童が授業で思ったこと、考えたことを書き、学期末の評価の際にも活用できるよう工夫されている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 発達段階に合った教材を取り上げ、児童が他国に興味・関心をもち、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。⑦ ○ いじめに関わることは重要内容項目とし、複数教材を取り入れ、さらにスキルも取り入れて、深く考えられるよう工夫している。⑨	
	2 教育基本法	○ 「生命の尊重」について、児童がより深く考えるための教材が工夫されている。④ ○ スポーツなど身近なことを取り上げ、我が国を愛し、他国を尊重する心情を育てる工夫がされている。⑤	
	3 学習指導要領	○ いじめ防止については、直接的、間接的な教材を通して、児童自身の問題としてとらえられるよう配慮されている。② ○ 「学びの足あと」に学習したことの振り返りを記入することで、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。⑧ ○ 教材が「問い」「考える」「まとめる」「広げる」で構成されていて、児童が考えを深め、判断し、表現する力が育まれるよう工夫されている。⑨⑩ ○ 他教科や学校生活、家庭生活、地域社会などへのつながりをもたせ広げていくヒントが示されている。⑨⑬ ○ 情報モラルに関する教材は、インターネットやスマートフォンの使い方を取り上げていて、児童の実生活に適しており、発達段階や特性等に考慮されている。また、コラムを取り入れ、情報社会で適正な行動を行う基になる考えや態度について考える工夫がされている。⑪	
	4 外的要素	○ 冊子のサイズが大きく、文字のフォントも大きく、読みやすい。① ○ 挿絵、写真も大きさや色使いに配慮されている。②	
	5 構成・配列	○ 他教科の学習や伝統的行事と関連づけた教材の配列がされている。② ○ 重点主題教材や内容項目の関連が目次で色分けされ、明確である。③ ○ 「広げる」では、道徳の学習で学んだことを他教科や学校生活へつなげるよう工夫されている。④	
	6 資料その他	○ 児童に身近なアニメのキャラクターや人物を取扱い、学習意欲を引き出すように工夫されている。②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ 大阪を題材にした教材は少ない。⑧ ○ インクルーシブ教育に関する資料がやや少なく感じる。⑪	
	2 教育基本法	○ 女性が家事をする人として登場している。③	
	3 学習指導要領	○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や問題意識をもって学習展開を行うには配慮が必要である。⑩	
	4 外的要素	○ 文字数や挿絵、写真が多すぎて、読みにくいページがある。①②③ ○ 教材ごとに字体や文字の大きさが違って読みにくい。①	
	5 構成・配列	○ 教材下段の「吹き出し」部分の取扱いが難しい。①	
	6 資料その他	○ 道徳ノートがなく、教科書の書き込むスペースも少ないので、児童の考えを深める点では課題がある。①	

道 徳		学 研	記入責任者
総 評		「考え、議論する」道徳を推し進めるため、他者の意見をもとに、児童が多面的・多角的に道徳的価値を考えられるよう工夫されている。また、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」等、多様な学びの展開ができるように工夫されている。さらに、いじめ防止については、関連する内容項目について多様な教材を配列し、全体として、「いじめを許さない」心情を育むよう配慮されている。	
特に優れている点	1 大阪市教育局基本条例・大阪市教育局振興基本計画	○ 国際理解・国際親善について教材の取扱いが充実している。⑦ ○ 直接的ないじめの表現ではなく、日常起こりうる問題を場面設定した資料を通して、生活につなげていけるよう工夫されている。また、「生命の尊さ」を重んじる教材を連続して取り扱うことで「命の尊さ」をより多面的に考えることができる工夫がされている。⑨ ○ 著名なスポーツ選手等を取り上げるなど、努力の大切さや、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上につながる。⑩ ○ 高学年では、インクルーシブ教育を扱う資料が充実している。⑪	
	2 教育基本法	○ 本文を読む前に主題(ねらい)を記載しないことで、児童が自ら考え議論し、豊かな情操と道徳心を培うような編集がされている。① ○ 生命の尊さについて、児童の発達段階に応じた「命の教育」に関する特集のページと合わせて学習することにより、生命の尊さについての考えを深められるよう工夫されている。④	
	3 学習指導要領	○ いじめについて重点テーマを設定して間接的教材を配列したり、「生命の尊さ」を重んじる教材を複数時間連続して取り扱える構成にしたりして、「命の尊さ」を多面的に考える工夫がされている。②⑦ ○ 児童の問題意識を大切にしながら、教材の末尾にある「考えよう」等で児童一人一人が自己を見つめ、自分の生き方について考えを深められるよう配慮されている。③ ○ 身近な話が多く使用されており、児童が自分自身に置き換えて考えることができるように工夫されている。⑧ ○ 「学びのページ」では、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」を設け、多様な学習過程や深い学びのための工夫がある。⑩ ○ 情報モラルに関する資料が児童の実生活に適しており、発達の段階や特性等に考慮されている。⑪	
	4 外的要素	○ 挿絵が児童にとって親しみやすい柔らかいタッチのものが多く、安心して授業に取り組むことができる。①②③ ○ 文字・挿絵・写真も大きさや色使いに配慮されている。①②③	
	5 構成・配列	○ 裏表紙に重点主題や内容項目間の関連が明確にされている。③	
	6 資料その他	○ 児童に身近な動物や人物が取り扱われている。②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育局基本条例 等	○ いじめ問題について、もう少し具体的な題材であっても良い。⑨ ○ インクルーシブ教育に関する資料がやや少なく感じる。⑪	
	2 教育基本法	○ 伝統と文化や、国や郷土を愛する態度についての内容がやや薄い。⑤	
	3 学習指導要領	○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や自ら問題意識をもって考える学習展開をするためには工夫を要する。③⑩ ○ 葛藤場面のある資料が少ない。⑫	
	4 外的要素	○ 教科書のサイズが大きい。①	
	5 構成・配列	○ 児童が本文に出会う前に、主題(ねらい)が書かれていないため、考えを深めるためには配慮を要する。④	
	6 資料その他	○ 写真・挿絵が大きく、多いので高学年にはもの足りない②	

道 徳		廣あかつき	記入責任者
総 評		児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、「考えよう 話し合おう」が設けられ、自分の生き方について深く考えられるよう工夫されている。また、全学年に共通重点項目（「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊重」）を掲げ、一貫性が示されている。さらに、道徳ノートでは、心に残っている授業の記録を残すことで、考えの深まった道徳的価値を見取り、評価につなげることもできる。	
特に優れている点	1 大阪市教育行政基本条例・大阪市教育振興基本計画	○ いじめについては直接的な教材は少ないが、「生命の尊さ」や他の内容項目と関連させて、日常起こりうる問題を場面設定した資料を通して、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。⑨ ○ 全学年において、先人の伝記や、様々なジャンルで活躍する方が取り扱われている。⑩ ○ 高学年では、点字や段差のないように工夫されているバリアフリーの写真を掲載したり、「車いすの少女」を教材に取り上げたりして、インクルーシブ教育システムの充実・推進につなげることができる。⑪	
	2 教育基本法	○ 児童の発達段階に応じた「命の教育」に関する特集のページと合わせて学習することにより、生命の尊さについての考えを深められるよう工夫されている。④	
	3 学習指導要領	○ 教材文の末尾の「考えよう 話し合おう」の欄に、学習のめあてや、教材をもとに考える問い、自己に照らして考える問いが示され、学んだ内容を一層広げられるよう配慮され、自己の生き方についての考えをより深められるよう工夫されている。③ ○ 分冊「道徳ノート」を活用することで、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、表現する力を育むことができ、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動が充実している。⑨ ○ 多面的、多角的に考えながら課題解決に向けて話し合う「問題解決的な学習」を促す教材と、体験的な学習や役割演技などの表現活動を取り入れた「体験的な学習」を促す教材を、全学年に適切に配置し、道徳的实践を主体的に行う意欲と態度を育めるよう工夫されている。⑩	
	4 外的要素	○ 必要最低限の文・挿絵・写真でまとめられおり、シンプルで見やすい。 ○ 道徳ノートはマスがあって書きやすい。①②③ ○ 文字の大きさ、挿絵・写真の大きさが適切で、色づかいも見やすく、配慮されている。①②③	
	5 構成・配列	○ 共通重点項目や、学年別重点項目を設け、教材を配列している。① ○ 定番的な道徳的教材を配置したり、同じ内容項目の教材を連続で学習できるよう構成したりし、児童の考えが深まる工夫がされている。③	
	6 資料その他	○ 学習を振り返る道徳ノートがあり、自らの道徳性の成長を実感したり、課題や目標を見つけたりできるよう工夫されている。① ○ 児童に身近なアニメや人物が取り扱われている。②	
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育行政基本条例 等	○ 国際理解・国際親善やグローバルの観点では、身近な国の扱いがやや弱い。⑦	
	2 教育基本法	○ 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことについては、やや扱いが少ない。③	
	3 学習指導要領	○ 考える観点は示されているが、問題解決的な学習や自ら問題意識をもって多面的・多角的に考える学習展開をするには工夫を要する。③⑩ ○ 葛藤場面のある資料がやや少なく感じる。⑩	
	4 外的要素	○ 文字数の関係か文字がやや小さく見える。①	
	5 構成・配列	○ 名作・感動教材が多いが、発達段階上難しさを感じるものもある。②	
	6 資料その他	○ 別冊ノートの記述量について、低学年の活用には配慮を要する。①	